

地方自治のスペシャリスト

地域の問題を考える

おだかつひさの斬

ODAKATSU

念願の子宮頸がん予防ワクチンの全額公費負担が実現

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンの接種について、全額公費負担が実現できました。ただし、来年3月に終了となる単年度の事業です。

子宮頸がん予防ワクチンは、中学1年～高校1年生相当の女子で、対象者は約2万3000人です。国の示した基準単価は、1万5939円で、半年間に3回の接種が必要とされますので、一人当たり5万円弱の公費負担です。

保護者の家計状況に影響されることなく、対象の希望者は接種することができます。ワクチンで予防できる唯一のがんワクチンとされているので、かかりつけ医などのご意見を伺いながら、積極的な接種をご活用いただきたいと思えます。

おもに細菌性髄膜炎などの感染症予防対策に有効な、ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチンの接種については、生後2カ月から5歳未満の乳幼児が対象です。対象者が約7万人とされています。接種回数は、最大4回とのことですが、接種を開始する年齢により異なりますので、かかりつけ医などにご相談ください。

定期接種化へむけて財源の確保を

今回の総事業費は、約22億円です。2分の1は県に設置する基金に国が拠出、残り半分は国から交付税措置さ

れます。ところが、川崎市は不交付団体となっておりますので、この約11億円は、市の負担（持ち出し）となります。

将来、BCG、ポリオ、ジフテリア、麻しんなどと同様に、予防接種法上の定期接種になると、市の事業として行われます。現在、年間約25億円の事業費に、来年からは、子宮頸がん予防ワクチン接種事業などの費用22億円が上乘せされる懸念があります。

子宮頸がん予防ワクチン接種事業などの費用22億円については、国からの特定財源化（全額国費負担）することを、国に働きかけていきます。



おだ かつひさ プロフィール

- ◆1961年幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業（地方自治、都市政策専攻）
- ◆国会議員秘書を経て、2003年川崎市議会議員初当選。現在2期目。市議会健康福祉委員会委員長。議会運営委員会委員
- ◆尊敬する人物/ケネディ 元アメリカ大統領
- ◆好きな作家/司馬遼太郎
- ◆妻、二男（高2と小6）の4人家族。有馬在住

www.odakatsu.com



MIYAMAE ZAN おだ かつひさの斬 2011年2月号 www.odakatsu.com

発行 民主党川崎市議会議員団 川崎区宮本町1 TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135
編集 おだ かつひさ 宮前区有馬3-28-15-D TEL:044-856-5456 FAX:044-854-0012 Mail:oda@odakatsu.com

おだ かつひさが地域の問題を斬る！
民主党川崎市議会議員団 川崎市議会議員（宮前区）
おだ かつひさ



<ホームページ>
地方自治のスペシャリスト
川崎市議会で奮闘中！

2011年2月号
www.odakatsu.com

連絡先 川崎市宮前区有馬 3-28-15 フレンドマーケットD号室
TEL:044-856-5456 FAX:044-854-0012
Eメール:oda@odakatsu.com



<緊急レポート>

幼稚園の節分豆まきでは、子どもたちから活力をもらいました。

横浜市営地下鉄の延伸をどう生かすか 川崎市の交通計画にきちんと位置づけよ

◆コラム 念願の子宮頸がん予防ワクチンの全額公費負担が実現

